

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ニレコ

コード番号 6863 URL <http://www.nireco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川路 憲一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 長塚 寛

TEL 042-642-3111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,065	1.5	190	△16.7	218	△23.2	34	△85.3
23年3月期第3四半期	4,990	13.2	228	—	284	—	237	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △27百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 202百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	4.76	4.74
23年3月期第3四半期	32.54	32.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,477	10,081	87.0
23年3月期	11,326	10,194	89.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 9,982百万円 23年3月期 10,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	5.1	310	7.6	380	8.6	210	△35.0	28.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
なお、当社は平成23年12月26日開催の取締役会において連結子会社でありますNIRECO EUROPE SASを清算する事を決議いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	9,205,249 株	23年3月期	9,205,249 株
24年3月期3Q	1,881,746 株	23年3月期	1,881,679 株
24年3月期3Q	7,323,508 株	23年3月期3Q	7,313,356 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により記載の数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による企業活動の停滞や景気低迷から回復に向かいましたが、歴史的な円高の継続や欧州における金融不安、さらに、タイの洪水被害による生産活動の低下等により輸出が落ち込むなど、不透明感の強い状況で推移しました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先であります印刷業、紙加工業、電気部品メーカー、鉄鋼業及び化学工業等におきましても、世界経済の減速や長期化する円高の影響により輸出が伸び悩むなど、先行き不透明感が依然として残ることから、設備投資に対しては慎重な姿勢が続きました。

このような情勢のもと、当社グループはお客様の震災復旧支援に注力するとともに、積極的な営業活動を続けた結果、当第3四半期連結累計期間における業績の状況につきましては、売上高は5,065百万円（前年同期比101.5%）、営業利益は190百万円（前年同期比83.3%）、経常利益は218百万円（前年同期比76.8%）となりました。また、特別損失として、時価下落による投資有価証券評価損59百万円、当社のプロセス事業における韓国代理店に対する売掛債権について回収不能となる懸念が高まったことによる貸倒引当金繰入額48百万円、欧州での印刷関係の将来性が見込めず連結子会社であるNIRECO EUROPE SASを平成24年3月末日に清算を予定していることによる子会社整理損42百万円を計上いたしました結果、四半期純利益は34百万円（前年同期比14.7%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、前連結会計年度の第3四半期連結会計期間から、「印刷品質検査装置」の報告セグメントを「検査機事業」から「ウェブ事業」へ変更いたしました。これにより、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間において、「印刷品質検査装置」に関する各数値は変更後の報告セグメントに含まれております。

① プロセス事業

プロセス事業における主要取引先であります国内鉄鋼業界は、東日本大震災後の落ち込みから内需を中心に回復に向かっているものの、アジア経済の減速やタイの洪水、さらに、長引く歴史的な円高による影響も相俟って東アジアを中心とした輸出が減少するなど、厳しい状況で推移しました。設備投資については、国内では被災した製鉄所の復旧に対する設備投資もありましたが、新興国における鉄鋼需要の増加に備え海外での生産体制を強化するなど、国外重視の設備投資傾向が続きました。このような状況の中、プロセス事業では被災した施設の復旧に対する予備品の販売が伸びたことや、中小型の設備投資案件の獲得に注力したことなどにより前年同期を上回る受注を獲得しました。その結果、プロセス事業の売上高は1,693百万円（前年同期比106.4%）、セグメント利益は107百万円（前年同期比75.8%）となりました。

② ウェブ事業

ウェブ事業における主要取引先であります高機能フィルム業界では、液晶パネルが世界的な供給過多により生産調整に入りましたが、スマートフォンやタブレット端末などの中小型パネル向けの生産ラインが増強されたことにより、旺盛な設備投資が続きました。このような状況の中、ウェブ事業では海外部門の再編成による営業力強化や昨年度に市場投入した新製品の積極的な営業活動などにより設備投資需要を捉え、耳端位置制御装置の売上高は前年同期を上回りました。また、印刷品質検査装置は、電子媒体の普及に伴い印刷関係市場が縮小傾向にある中、販路拡大と設備更新需要の地道な掘り起こしを行ったことにより、売上高は前年同期を上回りました。その結果、ウェブ事業の売上高は2,435百万円（前年同期比108.9%）、セグメント利益は307百万円（前年同期比143.3%）となりました。

③ 検査機事業

検査機事業の主要製品である各種フィルム向け無地検査装置は、スマートフォンやタブレット端末の急激な需要拡大に伴う中小型パネル向け部材の検査ラインへの設備投資需要を捉え、前年同期を大きく上回る受注を獲得したことにより、売上高が増加しました。一方、リチウムイオン二次電池向け電極シート検査装置は、車載向けなどの大型電池関係の設備投資本格化を前に、多様化する仕様のニーズに対応するため、引き合いから受注、売上までに時間を要しておりますが、リピートオーダーによる受注を獲得するなど徐々に地歩を固めています。また、近年、検査機事業を牽引している農業関係向け選果ラインの検査装置は、農林水産省関係の補正予算の決定が遅れたことにより設備投資の実行が停滞し、これまでのところ売上高は前年同期を大きく下回っております。その結果、検査機事業の売上高は912百万円（前年同期比80.4%）、セグメント利益は145百万円（前年同期比57.6%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて150百万円増加し11,477百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少541百万円などがあったものの、受取手形及び売掛金の増加172百万円、商品及び製品の増加354百万円、仕掛品の増加91百万円、原材料及び貯蔵品の増加119百万円などがあった事によります。また、負債は前連結会計年度末に比べて263百万円増加し1,396百万円となりました。これは主に工事損失引当金の増加97百万円、その他流動負債の増加237百万円があった事によります。

純資産は前連結会計年度末に比べて113百万円減少し10,081百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少52百万円、有価証券評価差額金の減少52百万円、為替換算調整勘定の減少14百万円があった事によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、概ね当初予想した範囲で推移しており前回発表（平成23年11月11日業績予想の修正に関するお知らせ）の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当社は平成23年12月26日開催の取締役会において連結子会社でありますNIRECO EUROPE SASを清算することを決議いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,419,516	2,877,746
受取手形及び売掛金	2,584,280	2,756,935
有価証券	163,634	86,976
商品及び製品	853,782	1,207,796
仕掛品	689,590	781,156
原材料及び貯蔵品	428,015	547,185
繰延税金資産	170,279	207,099
その他	168,372	302,416
貸倒引当金	△25,837	△25,192
流動資産合計	8,451,633	8,742,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	470,376	445,040
機械装置及び運搬具(純額)	128,890	102,560
工具、器具及び備品(純額)	52,081	58,271
土地	650,942	650,942
建設仮勘定	15,890	22,376
有形固定資産合計	1,318,180	1,279,192
無形固定資産	81,927	64,342
投資その他の資産		
投資有価証券	976,217	938,626
長期貸付金	283,482	258,882
繰延税金資産	3,271	3,151
破産更生債権等	19,697	68,708
その他	213,295	191,592
貸倒引当金	△20,908	△69,115
投資その他の資産合計	1,475,056	1,391,844
固定資産合計	2,875,164	2,735,379
資産合計	11,326,798	11,477,500

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	359,158	383,237
未払費用	336,484	269,439
リース債務	18,670	19,549
未払法人税等	41,851	52,772
未払消費税等	35,729	15,855
役員賞与引当金	21,500	10,908
工事損失引当金	57,400	154,434
その他	131,578	368,975
流動負債合計	1,002,373	1,275,171
固定負債		
リース債務	33,065	22,282
繰延税金負債	8,125	7,533
退職給付引当金	23,114	41,534
役員退職慰労引当金	29,441	31,048
負ののれん	36,509	18,862
その他	27	—
固定負債合計	130,283	121,261
負債合計	1,132,656	1,396,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,127,057	4,127,057
利益剰余金	4,251,934	4,199,111
自己株式	△1,279,525	△1,279,556
株主資本合計	10,171,819	10,118,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,755	△68,164
繰延ヘッジ損益	△2,317	—
為替換算調整勘定	△53,280	△67,832
その他の包括利益累計額合計	△71,354	△135,997
新株予約権	17,754	21,162
少数株主持分	75,922	76,938
純資産合計	10,194,142	10,081,067
負債純資産合計	11,326,798	11,477,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	4,990,334	5,065,946
売上原価	3,282,985	3,322,388
売上総利益	1,707,349	1,743,557
販売費及び一般管理費	1,478,665	1,553,058
営業利益	228,683	190,499
営業外収益		
受取利息	14,148	13,603
受取配当金	11,858	10,424
助成金収入	2,236	—
負ののれん償却額	18,297	17,646
その他	21,498	14,408
営業外収益合計	68,038	56,083
営業外費用		
支払利息	4,681	3,305
投資有価証券売却損	—	11,459
為替差損	838	6,505
その他	7,135	7,234
営業外費用合計	12,655	28,505
経常利益	284,067	218,077
特別利益		
受取保険金	76,595	—
負ののれん発生益	26,349	—
特別利益合計	102,945	—
特別損失		
投資有価証券評価損	108,117	59,100
貸倒引当金繰入額	—	48,340
子会社整理損	—	42,657
社葬費用	13,315	—
特別損失合計	121,433	150,097
税金等調整前四半期純利益	265,578	67,979
法人税等	24,347	30,285
少数株主損益調整前四半期純利益	241,231	37,693
少数株主利益	3,254	2,824
四半期純利益	237,976	34,868

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	241,231	37,693
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△12,829	△52,408
繰延ヘッジ損益	2,222	2,317
為替換算調整勘定	△28,589	△15,555
その他の包括利益合計	△39,196	△65,646
四半期包括利益	202,034	△27,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201,944	△29,774
少数株主に係る四半期包括利益	90	1,821

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,590,928	2,236,564	1,134,816	4,962,308	28,026	4,990,334	—	4,990,334
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,590,928	2,236,564	1,134,816	4,962,308	28,026	4,990,334	—	4,990,334
セグメント利益	142,420	214,839	252,218	609,477	2,393	611,870	△383,187	228,683

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△383,187千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間において、プロセス事業に関連した負ののれんを26,349千円計上しております。これは、当社が追加取得した子会社株式の取得原価が、当該追加取得に伴う少数株主持分の減少額を下回った事によるものであります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,693,300	2,435,111	912,634	5,041,045	24,901	5,065,946	—	5,065,946
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,693,300	2,435,111	912,634	5,041,045	24,901	5,065,946	—	5,065,946
セグメント利益	107,963	307,848	145,271	561,082	3,834	564,916	△374,417	190,499

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△374,417千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度の第3四半期連結会計期間から、制御及び検査の領域を合わせて事業展開と市場拡大を図るため、「印刷品質検査装置」の所轄を当社の検査機事業部からウェブ事業部に移管したことに伴い、同装置の報告セグメントを「検査機事業」から「ウェブ事業」に変更いたしました。

前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間については、変更後の区分方法により作成した「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」を記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。